

基本情報



【年 齢】
35歳
【出身地】
大阪府堺市
【転出元】
兵庫県西宮市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R4.5～R7.4

協力隊に応募したきっかけ

都市部での子育てに疑問があり、地方で周囲の方の力も借りながら「みんなで子育てできる環境が欲しい」と考えていた時に、コウノトリの野生復帰など自然と人の共生を実践してきた豊岡に興味を持ちました。この目でその自然を見てみようと思いたち、冬の豊岡を訪れました。現在住んでいる竹野地区の荒れ狂う冬の日本海を目の当たりにし、「自然の厳しさ」を肌で体験できる環境は、きっと子育てにも好影響があるだろうと強く惹かれました。

伝統工芸など地域文化にも興味がありましたが、デジタルで地域課題の解決を目指す豊岡スマートコミュニティ推進機構（TSC）の取組みを運良く紹介頂き、これまで磨いてきたスキルを活かす方向で応募することができました。

今後の抱負・任期後の目標

元々持っているデジタルスキルと、プロジェクトを進めるうえで培ったマネジメントスキルをいかし、市民が地域課題の解決にデータやデジタルツールを活用するための支援や、自治体のDXに関わる仕事をしたいです。また豊岡など地方で子育てする人たちの支援にも興味があり、自分の移住・子育て経験を活かした取組みを計画中です。

活動内容

●デジタルを活用した交通安全教室

私が活動している豊岡スマートコミュニティ推進機構（※1）では、交通事故のない社会を実現するため、市内の小学校や地域コミュニティ組織と連携しデジタル技術を活用した交通安全教室を実施しています。

※1 豊岡市と但馬信用金庫が共同運営する団体。
代表理事は豊岡市長。



小学生や高齢者が自らのヒヤリハット経験をデジタルマップ上に入力し、対策を話し合うワークショップを市内の小学校や地域コミュニティと連携し実施しています。

参加者数×2～3個の情報が入ったヒヤリハットマップを作成し、急ブレーキ発生箇所や平均走行速度など自動車の走行データや、過去の交通事故発生箇所のオープンデータを重ね合わせ地域の危険箇所を把握します。

2024年度にはイーデザイン損害保険株式会社（取締役社長 桑原 茂雄）の「共創する自動車保険 &e（アンディー）」の寄付活動「+まち（ぷらまち）※2」に応募し、採択されました。

※2「事故のない世界そのものを、お客さまと共創する。」をミッションに掲げ、地方自治体から募集した「安全な交通環境・社会の実現」につながる企画に寄付をする取組み。24年度の応募数：6 採択数：2（豊岡市、滋賀県日野町）

【参考URL】

<https://www.edesign.net/ande/safeworld/puramachi/>



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

豊岡市DX・行財政改革推進課 代表：0796-21-9146

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

TSC HP <https://www.toyooka-smart-community.org/>

X https://twitter.com/TSC_toyooka Toyooka iDO <https://toyooka.adalo.com/ido>